

中学校間での連携を軸とした授業改善に向けた取組について

県教委では、平成28年度より地域内の中学校を継続的に訪問し、授業改善や学級経営へのアドバイスを
行う「中学校の教科指導力向上のための推進員」を配置してきました。推進員を中心として、教員同士が繋
がることで「岡山型学習指導のスタンダード『授業5』」に基づいた授業の実践や、教科指導力向上のため
の情報共有や授業実践をめざし、取組を進めてきました。今回の通信では、これらの中から特に参考にして
ほしい取組について紹介します。

玉野市の取組



同一教科教員が共同で指導案を練り上げることを通じて、
教員の授業改善と授業力の向上につなげている。

日比中学校・玉中学校（以下連携校）の2校において中中連携を行っています。

連携校はいずれも小規模校であり、校内で同一教科を担当する教員が少なく、授業づくり等の情
報交換をする機会が限られます。そこで、2校の合同教科部会を立ち上げ、日頃から授業力向上の
ための情報交換をするとともに、夏季休業中には各部会ごとに開催する研究授業に向けて、指導案
づくりなどに共同で取り組んでいます。

～ 研究授業開催までの流れ ～

- 1 合同教科部会で授業者と実施する単元（教材）の決定
- 2 授業者による指導案の立案
- 3 **合同教科部会メンバーによる“指導案の練り上げ”**
- 4 研究公開授業・研究協議の実施 ※ワークシート類の交換



合同教科部会の様子

この取組のポイントは、3の“指導案の練り上げ”です。連携校の教員とも指導案を検討し、よ
り質の高い授業を作り上げることで、授業者だけでなく、指導案作成に関わった全ての教員の授業
力（教科指導力）の向上につながっています。

連携校で実施したアンケートでは、各教科の「授業が分かりやすいですか」といった設問で90%
を超える生徒が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」という肯定的な回答をしています。

一人で考えるのではなく、みんなで考える。そして、より有効な授業アプローチや、ワークシ
ートの作成を行う。こうした取り組みが、生徒たちにとって「わかった」「できた」を実感する授業
づくりにつながっているのではないかと考えています。

平成30年度 1学期時間割表(日比・玉 合体版)

教科	日比	玉	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
国語
数学
英語
理科
社会
体育
音楽
美術
保健
家庭
総合
特別
自由

日比・玉

合体版時間割

2校の合体版時間割を学期ごとに作成すること
で、参観可能な時間を把握できるようにしていま
す。公開授業週間を設定し掲示物や通信等で周知
することで、参観者が増え、研究協議での活発な
意見交換により、活性化につながっています。

12月12日(水) 3時間目

数学

- 導入の3問で抵抗なく文字の関係に移ることが
できていた。
- グループにさっとなれる生徒たちはすごいと思っ
た。普段からのグループ学習の成果だなと思った。
わかる生徒だけで話し合うんじゃなく、みんなで
話し合っている姿がどのグループにもありました。
- 思っていた以上にいろんな考えがでて、説明・発表の時間が思うようにとれず、流した感じ
になってしまっていたのがもったいなかった。



【中中連携だよりより】

案内掲示

公開授業週間

11/6(火)～22(金)

積極的に授業参観を！！

美術を見学する

数学の先生



教科の枠を
越えて参観

高梁市の取組



地域の同一教科教員で、合同の研究会や公開授業を設定し、それに向けた協働体制を構築している。

学校が小規模化する中、「市内6中学校が1中学校」との視点で、6校間のつながりを深めることを目的とし、昨年度は数学科に特化した実践を行い、今年度は教科の幅を広げた連携の取組を推進しました。

取組① 中学校教育研究会数学会の組織を活用した取組

昨年度は推進員がコーディネーター役となり、授業参観を通じて授業改善に生かそうという趣旨で、指導案のない授業参観を定期的に行いました。

今年度は高梁北中学校で授業改善研修会（数学）、成羽中学校で学力向上（ICT）研究発表会の授業公開を通じて、相互の研修を深めました。

現在、平成31年度開催予定の中国・四国算数・数学教育研究大会の発表に向け、市内の数学教員が協働体制の下、推進員も参加して3回の部会をもち、発表に向けた準備に取り組んでいます。



【指導教諭による授業公開】



【学力向上研究発表会】



【数学会の様子】

取組② 落ち着いた学習環境の構築を発信

学力向上の基盤は落ち着いた学習環境にあります。推進員が作成した連携通信において、生徒の自己肯定感を育む取組や落ち着いた学習環境の実践を発信することにより、各校における平素の積極的な生徒指導の成果を共有しています。

他校の様子や取組を知ることが参考になることはもちろん、各校における活動の励みにもなっています。

授業を支える学習の基盤づくり

「岡山型学習指導のスタンダード」の中でも挙げられていますが、学習を支える基盤として「学びのルール」、「心を整えること」、「場を整えること」はとても重要です。



話をされる先生を注視して話を聞く生徒の姿【川上中学校】



「あいさつ運動」の伝統を継承する生徒会【高梁東中学校】



駐輪場に整然と並んだ自転車【高梁中学校】

【連携通信の一部】

新見市の取組



各校において「単元ごとのCAN-DOリスト」を軸に据えた授業を実施し、よりよい授業にするため地域の英語科教員で、活用状況の振り返りと改善を行っている。

新見市の教育研修所・英語部会での取組み「単元ごとのCAN-DOリストの共同作成」

市内の5中学校のうち3校が学年1クラスの小規模校であり、校内での教科指導について相談することが難しい現状があります。そこで、各単元で生徒につけさせたい力等を明確にした授業の実施に当たり、分担して「単元ごとのCAN-DOリスト」を作成し、活用することで英語の指導力向上を図っています。

昨年度1年間で全学年、全ての単元のCAN-DOリストを作成しているため、今年度は内容や各学校での活用状況を振り返り、各自が改善点を持ち寄り、少しずつですが、生徒にとっても、教員にとっても、より使いやすいCAN-DOリストに改訂しながら授業で活用しています。

Class () No. () Name ()		What Can We Do for Others?					
Program	3	単元名	Can-do Check Sheet				
話すこと	1	2	3	4	この単元でできるようになったこと		
聞くこと	1	2	3	4			
読むこと	1	2	3	4			
書くこと	1	2	3	4			
話すこと	1	2	3	4			
聞くこと	1	2	3	4			
読むこと	1	2	3	4			
書くこと	1	2	3	4			
毎時間の振り返り							
①努力が必要 ②どちらかといえばできなかった ③どちらかといえばできた ④よくできた							
S1: 話す(やりとり) S2: 話す(発表) L: 聞く R: 読む W: 書く							
date	today's goal	S1	S2	L	R	W	振り返り・感想
/							

【単元ごとのCAN-DOリストと振り返りシート】